

平成27年 3 月 24 日

古賀市議会
議長 奴間 健司 様

予算審査特別委員会
委員長 倉掛 小竹

予算審査特別委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を、委員会条例第110条の規定により報告します。

記

今定例会における3月2日の本会議において予算審査特別委員会に付託されました平成27年度予算関係議案、第21号議案から第28号議案までの8議案について、審査の経過と結果について報告いたします。

審査に当たり、市長、副市長、教育長を初め、各関係部課長などの出席を求め、予算概要の説明を聞くとともに、資料請求に基づく資料を参考に3月9日、10日、11日、12日、19日の計5日間を日程とし、慎重審議いたしました。審査の内容につきましても、議長を除く14名の議員による特別委員会でありましたことから、詳細を省き概要を報告いたします。

第21号議案 平成27年度古賀市一般会計予算について

2 款総務費では

平和祈念植樹委託での市民や教育部との連携について、市内公共交通網整備事業費では公共交通活性化委員会の開催回数や地域移動サポート補助申請の予定地区について。公共施設等総合管理計画策定事業費では所管課との連携について。他に社会保障・税番号（マイナンバー）制度導入について、市民活動支援事業費まちの部活サロン事業委託の委託先や、フェイスブック等の開設の検討についてなどの質疑がありました。

3 款民生費では

生活困窮者自立支援事業費の家計相談支援業務委託の委託先や相談員の資格について、休日保育運営費や学童保育所保育事業費について質疑がありました。

4 款衛生費では

クロスパルこがの設計監理委託の内容や指定管理料における光熱水費の影響

について、施設老朽化に対し市と指定管理者の間でリスク分担表が存在することなど、また剪定枝回収地域の拡大が進んでいないことへの対策についての質疑、剪定枝チップ機購入費補助では、上限額は2万円で補助先は個人も可としている、事業者への持ち込みについても可能か前向きに検討中とのこと。この他、ごみ分別市民意識アンケート、ヘルス・ステーション設置補助について質疑がありました。

5 款労働費では

就職相談窓口委託について、高齢者と若者の雇用についてどう対応するか、相談員が一人増員されるがスペースの問題についての質疑。また企業への訪問についての質疑に、他課連携で回数を多くし、企業とのパイプ作りを進めたいとのこと。勤労者研修センターについて、条例中に宿泊の文言がある点については、現状宿泊は運営上できず、条例改正を検討したいとのことでした。

6 款農林水産業費では

農産物移動販売促進事業補助についての質疑、保安林内整備委託では良好な環境を保つために市民活動の負担が重すぎることが今後の課題だという指摘。耕作放棄地管理事業費についての質疑では事業実施後に5年間の耕作が条件であることから、一般の人が利用するためには市が間に入り、市民農園のような仕組みが必要と考えるとの答弁。他に多面的機能支払交付金、新規就農総合支援事業補助についての質疑がありました。

7 款商工費では

消費者相談窓口の高齢者への啓発、薬王寺地区観光促進補助、まつり古賀の出店料についての質疑がありました。

8 款土木費では

JR千鳥駅周辺の土地・家屋購入費について、駅前にバスの乗り入れが可能か、河川除草委託について市費投入の検討の有無について、市営住宅長寿命化型改善工事設計業務委託では鹿部団地が現在の耐震基準を満たしていないことへの質疑がありました。

9 款消防費では

防災無線の難聴地域の改善、防災備蓄品の内容、女性消防団員の確保の方策について質疑がありました。

10 款教育費では

小学校中学校管理費では、外国語教育促進事業の一層の充実についての質疑、

教室内扇風機設置工事と市長の所信表明との整合性についての質疑では、扇風機設置は平成27年度で完了予定、エアコン設置の計画は今後検討予定との答弁。その他、子どもの貧困率にどう対応するか、スクールソーシャルワーカーの契約期間、時間の充足について、公民館類似施設整備補助では高齢者や子育ての地域の拠点化の必要性、AED設置について、この他、文化協会・体育協会への事業費のバランスについて等の質疑がありました。

歳入全般では

2年かけて行われる法人税の減税の額は8,000万円の見込み、ゴミ袋の値上げによる増額は450万円を見込むとのこと。

【意見】

(反対意見)

- ・介護保険料の引き上げ、ゴミ袋料金の値上げ、下水道料金の引き上げは、負担を軽くしてほしいという市民の願いに応えていない。西鉄バスへの赤字補填額が増えている一方、企業努力は十分とは言えず、有効な使い方と思えない。古賀清掃工場への8億6,000万円の負担金もごみ減量を進める市民の努力が報われていない。子どもの医療費の無料化については、入院、通院ともに18歳まで拡大すべき。不況に苦しむ中小企業への融資制度改善もできていないことから反対。

(賛成意見)

- ・予算規模は200億円を超え過去最大となったが、これは生涯学習センター(仮称)建設事業による影響が大きく、長年住民も待ち望んだものである。戦後70年の節目の年に、平和の取り組みとして被爆クスノキ平和祈念植樹を市の事業としたことは高く評価したい。集団健診での歯周疾患健診の追加、農産物移動販売促進事業補助、千鳥駅東口駅前周辺整備事業も効果を期待。一方、循環型社会形成推進事業では、先進地視察や生ごみ分別に対する意識調査は、循環型社会形成に踏み出した感はあるが、清掃工場の将来計画に反映できるスケジュールが求められる。西鉄路線バス補助として3,969万円が計上されたが、市の補助金事業に対する精査、検証には課題がある。将来的にコミュニティバスの運行へ転換することを強く求め賛成。
- ・市債発行については前年比6.9%増で、市民一人あたりの借金額は約25万円となっており、次の世代へ負担をかけないよう配慮が必要。しかし、若い世代の応援となる“I P P O (いっぽ)”、“子育て支援情報紙作成”、“古賀市ママ&キッズ安心タクシー(仮称)”、高齢世代が元気に過ごすためのヘルス・ステーションの設置は有効で、これを評価し賛成。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案の通り可決すべきものと決定しました。

第22号議案 平成27年度古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

滞納繰越74件への対応で、ファイナンシャルプランナー等の相談体制について質疑がありました。

【審査結果】

委員会は、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第23号議案 平成27年度古賀市国民健康保険特別会計予算について

安定化事業拠出金、特定健康診査の受診率向上や、ジェネリック医薬品普及促進、レセプト点検の効果について質疑がありました。

【意見】

(反対意見)

- ・国保の抱える構造的な問題があり、国が行うべき責任を果たさず自治体に責任を押しつけ、さらに国保の広域化推進のための保険財政共同安定化事業拠出金に13億円も支出しており、市民にとって安心な制度になっていないことから反対。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案の通り可決すべきものと決定しました。

第24号議案 平成27年度古賀市後期高齢者医療特別会計予算について

滞納繰越分120人の徴収方法の内訳や、徴収の見込みについて質疑がありました。

【意見】

(反対意見)

- ・この制度は、一定の年齢以上の方を別の医療制度に移すもので、憲法の方針に沿っていないので反対。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案の通り可決すべきものと決定しました。

第25号議案 平成27年度古賀市介護保険特別会計予算について

介護保険料値上げの影響、地域支援事業費の昨年との違い、配食サービスの状況、市民後見制度の推進等について質疑がありました。

【意見】

(反対意見)

- ・制度導入後、改定ごとに保険料は上がり安心して老後が過ごせない。特に、今回は、要支援1、2の方を切り離し、市町村が運営するサービスを利用するように変えようとしている。保険料も引き上げられ市民の負担は大きい。保険料や利用料の減免制度が十分でないことから反対。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案の通り可決すべきものと決定しました。

第26号議案 平成27年度古賀市公共下水道事業特別会計予算について

水洗化奨励補助の対象地域は町川原、谷山が該当する。独立採算・事業の健全運営を目指すため3年かけて行う地方公営企業会計への移行にかかる調査委託は、費用の1/2が交付税措置され、プロポーザルで業者を決めるとのこと。この他、水再生センター更新工事の内容や消化ガス発電の検討状況について質疑がありました。

【意見】

(反対意見)

- ・公共料金である下水道料金の引き上げは、市民の懐を直撃し生活を圧迫することから反対。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案の通り可決すべきものと決定しました。

第27号議案 平成27年度古賀市農業集落排水事業特別会計予算について

地方公営企業会計への移行スケジュールは、公共下水道事業と一体化して計画しているとのこと。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案の通り可決すべきものと決定しました。

第28号議案 平成27年度古賀市水道事業会計予算について

配水管新設改良工事による有収率への影響について、水道企業団と福北導水の受水量の今後の変化について、コスト削減のために企業団との協定見直しが可能なのか、自己水源との経費比較等について質疑がありました。

【意見】

(反対意見)

- ・福岡地区水道企業団への出資金、繰出金は負担も大きく、受水の必要性には疑問を感じる。また、水道料金に消費税増税分を増額される点にも納得できないことから反対。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案の通り可決すべきものと決定しました。

以上、平成27年度予算審査特別委員会審査の概要を報告いたします。予算審査にあたっては、155件の資料請求を行い150件の文書回答が提出されました。当初予算説明資料や施政方針説明資料も提出され、予算に関連する資料が事前に提出されたことで、審査の充実が図られました事に対し、執行部の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

なお、主要な事業の多くが補正予算による前倒しとなったことで、古賀市においても予算編成に大変ご苦労があったことと想像します。しかし、目新しい事業ばかりではなく、通常の事業をいかに市民の課題に沿ったものとするかが市政運営の基礎となると考えます。西鉄路線バス運行補助など全般的な公共交通体系への総合的な見直しと、循環型社会形成への方向性と取り組みを市民へ明示することの必要性は、昨年、一昨年と過去数年にわたって決算審査でも指摘しております。議会は市民の代表であることを重く受け止めていただき、市民から信頼される市政運営の両輪となるよう、お願いいたしまして委員長報告を終わります。